

説明文の要旨をえらぼう

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 漢字の覚え方を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

漢字テストの前、教科書を何度も読み返していた。読んでいるときは分かった気になるのに、テストになると書けない。そこで、本をとして、覚えた字を何も見ずに書き出す練習に変えた。思い出せない字は、そのつど確かめた。すると、点数がぐんと上がった。

- 1 覚えるには、教科書を何度ももていねいに読み返すとよい。
- 2 覚えるには、何も見ずに思い出す練習をくり返すとよい。
- 3 覚えるには、何日かあけて、同じ練習をくり返すとよい。
- 4 覚えるには、人に教えるつもりで説明してみるとよい。

2 森と海を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

カキを育てる漁師が、海から遠い山に木を植えている。山の森の落ち葉がくさってできた土には、カキのえさになる小さな生き物を育てる養分がふくまれる。その養分が川を通して海へ運ばれ、海を豊かにするのだ。海のめぐみは、山の森に支えられているのである。

- 1 海の養分が、山の森の生き物のえさを育てている。
- 2 山の森の養分が、海の生き物のすみかを作っている。
- 3 山の森の養分が、海の生き物のえさを育てている。
- 4 海の養分が、山の森の生き物のすみかを作っている。

3 さか上がりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

さか上がりが、なかなかできなかった。上手な友だちの動きを見て、まねをしてもうまくいかない。ある日、自分の動きを動画にとってもらった。見ると、うでを曲げているつもりなのに、うでがのびて、体が鉄ぼうからはなれていた。直す所が分かったと、すぐにできるようになった。

- 1 上達するには、自分の動きを動画で外から見るとよい。
- 2 上達するには、できない動きを小さく分けて練習するとよい。
- 3 上達するには、できたときの感じを言葉にして残すとよい。
- 4 上達するには、あきらめずに何度も練習するとよい。

4 道案内を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

道を聞かれて、「二つ目の角を右、その次を左」と教えた。ところが、その人は通りすぎてもどってきた。角が多く、どれが二つ目か分かりにくかったのだ。次からは、「ポストのある角を右、赤い屋根の家の所を左」と、目印で伝えるようにした。説明は少し長くなるが、まちがえる人はいなくなった。

- 1 道案内は、角の数で伝えと、まちがえにくい。
- 2 道案内は、角の数で伝えと、短く伝えられる。
- 3 道案内は、目印で伝えと、短く伝えられる。
- 4 道案内は、目印で伝えと、まちがえにくい。

説明文の要旨をえらぼう【こたえ】

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：2

読み返しても『テストになると書けない』。『何も見ずに書き出す練習』に変えたら点数が上がったとあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

2 答え：3

森の土の養分は『カキのえさになる小さな生き物を育てる』。それが『川を流れて海へ運ばれ』とあります。海から山へではありません。

3 答え：1

友だちを『まねをしてもうまくいらない』。動画で自分の動きを見て『直す所が分かった、すぐにできるようになった』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4 答え：4

角の数では『どれが二つ目か分かりにくかった』。目印で伝えたと『説明は少し長くなるが、まちがえる人はいなくなった』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「ところが」のあとに書かれた結果から、筆者の考えをつかみます。